

第 1 問 答 案 用 紙< 1 >
(経 営 学)

問題 1

問 1

統制的

問 2

コスト

(費用，未来費用)

問 3

新たな生産方法の導入

新たな販売市場の開拓

問 4

従来の生産性概念が肉体労働に従事する労働者の労働生産性を指すのに対し，ドラッカーは，組織構成員の中でも知識労働に従事する知識労働者の生産性を重視した。

問 5

非営利組織

第 1 問 答 案 用 紙< 2 >
(経 営 学)

問題 2

問 1

限定合理性

機会主義的行動

問 2

(A) 不確実性

(B) 資 源

問 3

水平統合や垂直統合を通して特定の業種内で市場シェアを高めたり価格支配力を握ったりすることが、反トラスト法により困難になったために、様々な業種に進出する
コングロマリット型多角化が増加したのである。

問 4

株式公開買付

問 5

(C) インテグラル

(D) モジュラー

問 6

囚人のジレンマ

第 2 問 答 案 用 紙< 1 > (経 営 学)

問題 1

問 1

①	②	③	④
株 式	正味現在価値 (NPV)	変わらない (変化しない)	借入債務 (負債価値)

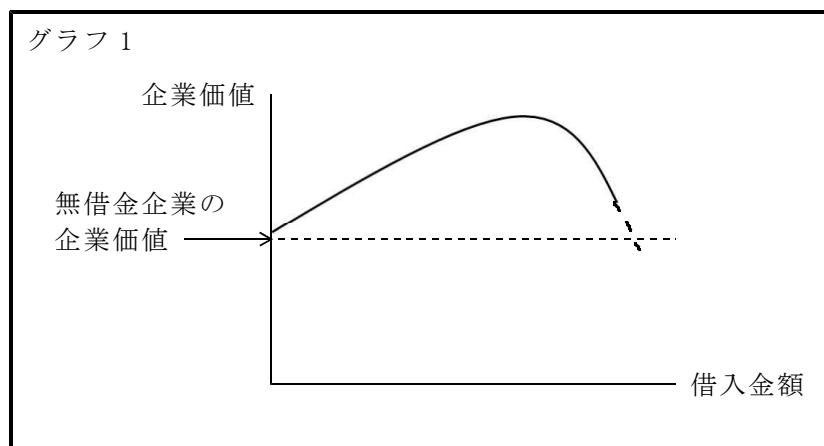
問 2

問 2 - 1 ③	問 2 - 2 ④
b	c

問 3

(ア)	(イ)
$\frac{CF_1}{R - g}$	$D R_D t$
(ウ)	
$\frac{E}{E + D} \times R_E + \frac{D}{E + D} \times R_D \times (1 - t)$	

問 4



問題 2

①	9.48	%	②	20.13	%	③	13.8	%
④	37.5	%	⑤	効率的		⑥	シャープレシオ	
⑦	アンビステマティック		⑧	7.84	%	⑨	0.89	
⑩	12	%						

第 2 問 答 案 用 紙< 2 > (経 営 学)

問題 3

問 1

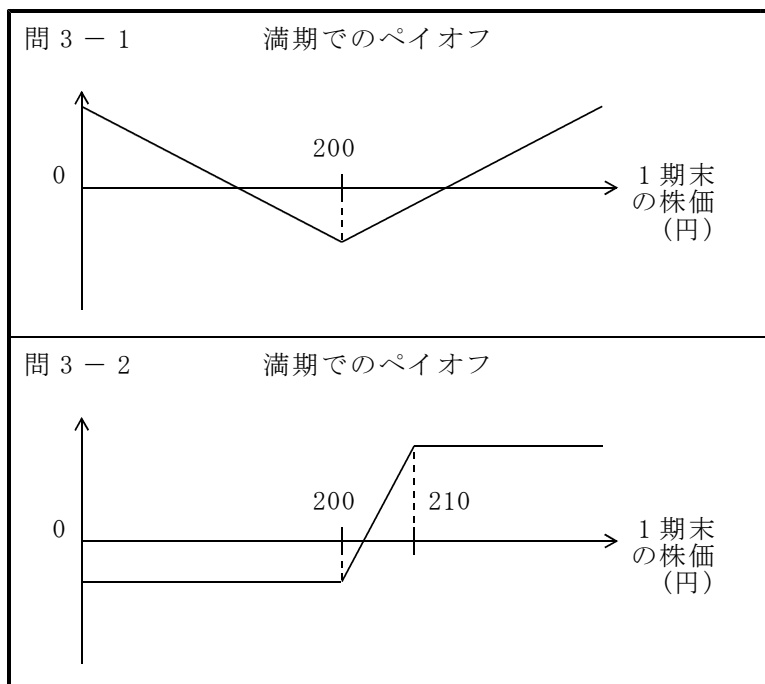
①	ボラティリティ	②	正
③	正	④	原資産

(株式)

問 2

問 2 - 1 ⑤	660.07	円
問 2 - 1 ⑥	0.33	株
問 2 - 2	0.34	
問 2 - 3	673.27	円

問 3



【解答への道】

I 合格ライン

＜第1問＞

問題 1 のうちドラッカーに関する問題は全滅でも大丈夫。今回の本試験では、＜第2問＞も含めて、ドラッカー以外でどれだけ取れたかが重要である。

＜第1問＞でいうと、**問題 1** では **問 3** が、**問題 2** では **問 3** 以外が、取れるはずの問題である。その全ては無理としても、これらの問題の6割くらい、つまり全体の3割強は取っておきたい。そうすれば、後は＜第2問＞で稼ぐことで、十分合格点に達するはずである。

＜第2問＞

問題 1 はM&Aに関する問題、**問題 2** はポートフォリオ理論に関する問題、**問題 3** はオプションに関する問題である。全体的に標準的な問題がほとんどであったため、満点ないし満点に近い点数が取れてもおかしくない。本番ではどうしても出てしまうケアレスミスを考慮しても、7割～8割くらいは得点してほしい問題といえる。以下、各問ごとに見ていこう。

問題 2

問

①期待収益率 $=0.7 \times 10.2\% + 0.3 \times 7.8\% = 9.48\%$

②標準偏差 $= \sqrt{0.7^2 \times 25^2 + 0.3^2 \times 18^2 + 2 \times 0.7 \times 0.3 \times 25 \times 18 \times 0.37} \approx 20.13\%$

③期待収益率 $= \frac{-50}{100} \times 3\% + \frac{150}{100} \times 10.2\% = 13.8\%$

④標準偏差 $= \frac{150}{100} \times 25\% = 37.5\%$

⑧アンシステマティックリスクの占める割合 $= \frac{25^2 - 1.2^2 \times 20^2}{25^2} = 7.84\%$

⑨相関係数 $= \frac{0.8 \times 20^2}{18 \times 20} \approx 0.89$

⑩期待収益率 $= 3\% + 1.5(9\% - 3\%) = 12\%$

問題 3

問2-1

$$\textcircled{5} \text{安全資産} = \frac{-0.5 \times 2,000 + 2 \times 0}{1.01(2 - 0.5)} \doteq 660.07$$

$$\textcircled{6} \text{原資産の購入単位} = \frac{2,000 - 0}{8,000 - 2000} \doteq 0.33$$

問2-2

$$\text{リスク中立確率} = \frac{1.01 - 0.5}{2 - 0.5} = 0.34$$

問2-3

$$\text{オプション価格} = \frac{0.34 \times 2,000 + (1 - 0.34) \times 0}{1.01} \doteq 673.27$$

Ⅱ 答練との対応関係

<第1問>

問題 1

応用答練第2回 第2問 問題1

問題 2

公開模試第1回 第1問 問題2

公開模試第2回 第1問 問題2

<第2問>

問題 1

直前答練第3回 第2問 問題1

直前答練第1回 第2問 問題1

基礎答練第1回 第2問 問題1

問題 2

基礎答練第2回 第1問 問題1

基礎答練第2回 第1問 問題3

直前答練第1回 第2問 問題3 問3

直前答練第2回 第2問 問題3 問2・問3

問題 3

基礎答練第2回 第2問 問題3

応用答練第1回 第2問 問題1

直前答練第2回 第2問 問題4 問2